

私立 千葉商科大学付属高等学校 シラバス

英語科「特選総合英語 I (2年普通科特進選抜文コース)」	単位数	2単位	学科	普通科
	学年	2年	組	H組

1 学習の目標, 評価の観点, 内容及び評価方法

学習の目標	CEFR B1 (英検2級以上合格レベル) の総合的な英語力を実践演習形式を通して養成する。
-------	--

育成する資質能力	「向上心」・「思考力」・「判断力」・「表現力」
----------	-------------------------

学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」
------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英作文・英検読解問題・長文入試問題などの実践を通じて知識が活用できているか。	英作文問題や思考・判断・表現力を要する入試問題を通して自分の考えを形にできているか。	授業に能動的に取り組み、出された課題にしっかりと取り組んでいるか。
評価方法	定期考査100%	定期考査100%	課題提出など 授業参加姿勢
配分	約40%	約50%	約10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項, 他教科との関連など）
第1学期	<中間考査まで> 英作文のプロセス 和文和訳に慣れよう！ Part1 動詞の表現 1. 時制(1) 2. 時制(2) 3. 時制(3) <期末考査まで> 4. 助動詞(1) 5. 助動詞(2)	・英作文を書く際の留意点を学習します。 ・すぐに英訳しようとせず、まずは与えられた和文を分析できるようにします。 ・文法項目別の和文英訳の問題演習を通じて、正しい英文を書くスキルを身に付けると同時に、各文法項目の基礎事項を確認していきます。	中間考査 期末考査 授業内で適宜課題あり
第2学期	<中間考査まで> 6. 条件・仮定(1) 7. 条件・仮定(2) 8. 態 <期末考査まで> Part2 準動詞の表現 9. 不定詞・動名詞(1)	・文法項目別の和文英訳の問題演習を通じて、正しい英文を書くスキルを身に付けると同時に、各文法項目の基礎事項を確認していきます。 ・適宜英検読解問題、長文入試問題、共通テスト演習などの実践問題に取り組みます。	中間考査 期末考査 授業内で適宜課題あり

	10. 不定詞・動名詞(2) 英検読解問題 長文入試問題 共通テスト演習		
第 3 学 期	Part3 名詞の表現 11. 分詞 12. 関係詞(1) 13. 関係詞(2) 英検読解問題 長文入試問題 共通テスト演習	・文法項目別の和文英訳の問題演習を通じて、正しい英文を書くスキルを身に付けると同時に、各文法項目の基礎事項を確認していきます。 ・適宜英検読解問題、長文入試問題、共通テスト演習などの実践問題に取り組みます。	学年末考査 授業内で適宜課題あり

使用教科書	数研出版『改訂版 和文分析から始める英作文 Steady Steps to Writing』 ※検定教科書は必要に応じて使います（啓林館『Vision Quest English Logic and Expression II Ace』）
副教材	プリント

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	英作文は、過ちを怖れてペンが進まないという状況ではいけません。多少間違いがあっても一気書き進み、見直して間違いを確認しましょう。また、SVOなど大きな文構造に間違いがないように気をつける必要があります。問題演習では持っている知識を能動的に使いましょ。知識は持っているだけではもったいないです。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	課題をきちんとやってくることに尽きます。この授業は課題への取り組みがあって初めて成り立つものです。授業だけでは課題をこなすことができません。
その他のアドバイス	現在使っている様々な教材で習ったことを駆使して英作文しましょう。これにより断片的な知識が有機的につながります。この授業は実践演習が中心になります。問題に取り組む中でしか得られないものがあるはずですから、失敗しながらも積極的な姿勢で臨んでください。間違いを「伸びしろ」と考えて歩み続けることができる人になりましょう。そういった人になることができれば、1年間この授業を受けることによって大きな成長を実感することができます。